

# 地域からのニュースと提言

**青森発**

## サーマルカメラで検温 コロナ防いで現任教育

【報告 津軽警備保障】

津軽警備保障(青森県弘前市、山口道子社長)は6月12日と13日、新型コロナウイルスの影響で延期していた4月実施予定の現任教育を弘前市内の産業会館で行った。

感染予防対策として、会場入り口に体温を瞬時に測定するサーマルカメラを設置し、

参加した98人が平熱であることを確認した。マスク着用と手指の消毒、互いに距離を保ち、3密を避け窓を開放するなど予防に努めた上で、座学と実技の警備員教育を行った。

山口社長は「コロナ禍で厳しい年度になることが予想さ



入場前にサーマルカメラで体温測定(津軽警備保障提供)

れるが、質の高い業務を推進して顧客から一層の信頼を得ることが重要になる」とスキルアップの取り組み強化を呼び掛けた。

今春高校を卒業し入社した5人の男性社員も参加した。新任教育で身に付けた基本動作や警戒棒操作の実技を披露し、先輩社員から激励の拍手を贈られた。